

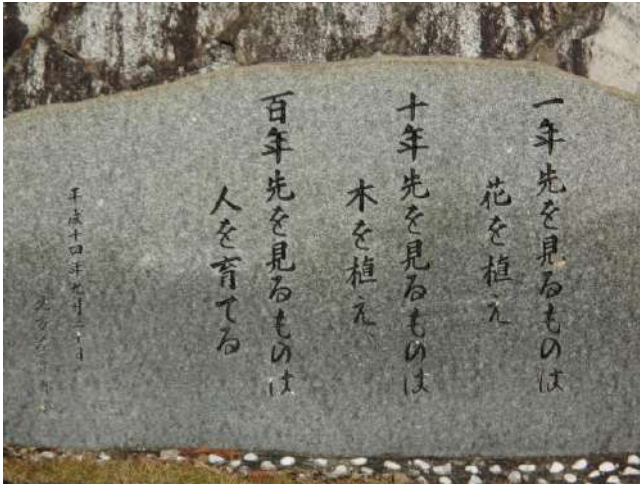


友愛の丘通信

UAゼンセン中央教育センター
友愛の丘通信 第 24 号
(2017年 12月 1日発行)
発行責任者：近藤 三千代
編集 人：阿部 亜紀

百年先を見るものは人を育てる 教育活動を担うリーダーへ

「運動の小道」の石碑より



友愛の丘には「運動の小道」があり、数々の石碑が道沿いにあります。その中でも、中国の古典「管子」の言葉を用いて「一年先を見るものは花を植え、十年先を見るものは木を植え、百年先を見るものは人を育てる」という石碑があります。

人材育成は、5年や10年で収穫があるはずはなく、終生にわたる努力が必要です。だからこそ成果も大きいのです。人を育てるために、自分自身が成長しながら今後の教育活動を担うリーダーが1人でも多く輩出されることを楽しみにしています。

研修会紹介「教育担当者養成講座」

この講座は、年1回のみで開催となっています。今年度は11月16日～18日に開催しました。

労働組合における教育の役割や知識などを学び、グループワークで教育体系や研修プランを作成しました。

また、研修の中で、各自1コマずつ研修を受け持ち、自らが指導者となり実践を行いました。アイスブレイキング、朝礼、組合の専門用語を学ぶカルタ学習、かけあいコールを担当し、「限られた時間の中でというのは大変だった」「しっかりとした知識がないと難しい」などの声がよせられ、さまざまなことに気づき、学ぶことができたようです。

「百年先を見るものは人を育てる」この言葉の意味をしっかりと胸に刻み、今回学んだことを発揮され、教育活動を担うリーダーとして活躍されることを期待しています。



短い時間で学習し、カルタを進行する研修生



堂々とした身振りと
キビキビした動き

友愛の丘スタッフたちのAED勉強会 大切な“いのち”を守るために

11月1日、友愛の丘職員たちの救命救急訓練を実施しました。AEDについての知識はもちろんのこと、実際に人形を遣い心臓マッサージを行ったりと、体験も含めての勉強会です。

我々友愛の丘職員は、研修生を預かる身です。そのため、定期的に訓練を受け、万が一に備え、適切な対応の仕方、そして備えの大切さを職員一同で共有しました。

研修会の安全は利用者の協力なくしてはありえません。研修生自らが健康管理を行い、自覚を持った行動を行うことが1番大切だということを忘れないでください。



心臓マッサージをする近藤センター長
救急救命の基本とAEDの使い方を学ぶ

研修会紹介 「カウンセリング講座」(11/6~8)

傾聴の大切さを学ぶ

専門教育であるこの講座は、年3回行われています。外部から専門講師の方々をお迎えし、傾聴実習に重点をおいて行っています。

研修生が話し手と聴き手にわかれ、観察者がその傾聴の様子をじっくりと眺めて、その後の振り返りの中で、意見を共有していくといった形の実習です。研修生からは、「結論を急ぎすぎてしまう」「自分の意見を先に言ってしまう」といった声があがっていました。

難しさを感じながらも、1人でも多くの組合員の心の奥を感じ取り、声に気持ちに寄り添うために、研修生は技術を習得しようと熱心実践しました。



話し手と聴き手と観察者。
それぞれの役割にあわせての実習



グループごとに各自の良い所を発見！
笑顔が絶えません

より安全に！足どり軽く

整備された先駆者の塔から戸石滝までの道

先駆者の塔と戸石滝を結ぶ石階段に手すりを設置しました。あわせて、歩道の整備も行い、大変歩きやすくなりました。

研修生からは、「安心して歩くことができる」とたくさんの喜びの声をいただいています。

今度、この道を通るのをぜひ楽しみにしてください。



友愛の丘 歳時記

～干し柿作り～ 美味しくな～れ



屋根に登り渋柿を採ります



皮をむいた柿のT字のヘタに紐をむすびます



風通しの良い所につるして
できあがりまで待ちます



柿の皮をむきます



熱湯に湯通しします

「研修生に季節を感じてもらいたい。」その思いで教育スタッフが干し柿を作りました。スクラムホール横に干してあります。記念館見学や施設見学の際に、「干柿いいですね！」という声を耳にし、うれしく感じます。できあがりを楽しみます。

編集後記 最近はとても寒く、いよいよ冬が近づいてきました。友愛の丘では、朝晩特に冷え込みます。これから研修へ参加される方は、防寒対策を忘れないようにしてください。また、読者の皆様も風邪やインフルエンザに十分注意をしてください。(犬四郎)